

10月20日(土)
14:50-17:20

会場 土木総合館 1F 155 号室	日本地域学会 第 38 回 (2001 年) 年次大会シンポジウム 総合司会: 河村能夫 (龍谷大学) グローバル化時代の都市戦略 – 京阪神・三都の個性 – 座長: 青山 吉隆 (京都大学大学院) 田中 啓一 (日本大学)
	開催主旨: グローバル化が急速に進むなかで、個々の都市においては、いかに個性を維持していくかが問われている。バブル崩壊後の不況、環境問題の深刻化、少子高齢化・人口の減少、IT 革命の進展などの影響を受け、わが国の都市は大きな変革の潮流に直面しており、都市戦略の重要度も増している。このような潮流のもとで、それぞれの都市は、いかなる将来像を描くべきなのか。このシンポジウムでは、個性的な発達過程を経て今日に至っている京阪神 (京都・大阪・神戸) の各都市と中央 (東京) の立場から、各都市がとるべき今後の都市戦略について、産業政策と文化論という視点から討論する。
14:50-15:00	主旨説明 (実行委員会委員長 青山 吉隆 京都大学大学院 教授)
15:00-15:30	パネラーによる報告 title: tba Speaker: 河内 隆 (京都市副市長) title: tba Speaker: 岩本 康男 (大阪市計画調整局長) title: tba Speaker: 加藤 恵正 (神戸商科大学教授)
15:30-16:40	パネルディスカッション コーディネーター 青山 吉隆 (京都大学大学院) パネリスト 河内 隆 (京都副市長) 岩本 康男 (大阪市計画調整局長) 加藤 恵正 (神戸商科大学教授) 田中啓一 (日本大学教授)
16:40-17:10	一般討論
17:10-17:20	まとめ